記者発表資料

令　和　7　年　7　月　29　日
国土交通省東北地方整備局
鳴　子　ダ　ム　管　理　所

鳴子ダム貯水位低下への対応

-今般の少雨により、鳴子ダムの貯水位が低下したため、最低水位以下の水を放流しています-

鳴子ダムにおいては、６月から７月にかけての少雨の影響により流入量が減少するなか、かんがい用水の補給を続けてきましたが、令和７年７月２９日(火)午前３時に、貯水率が０％となりました。
このため鳴子ダムでは、本来取水を予定していない、最低水位以下(ダム堆砂容量)に貯まっている水を、利水者の要請に応じ、ダム使用権者や漁協など関係者の同意を得て、放流バルブから緊急的に放流しています。
今後も、鳴子ダムと岩堂沢ダム(宮城県・農業用ダム)の連携により、出穂期が終了するまでの間、かんがい用水の補給に努めます。
「大切な一滴　限りある水　みなで一層の節水を！」　ご協力願います。

1. 鳴子ダムの状況

貯水率（利水容量）　　０．０％(令和7年7月29日、9:00現在)
貯水位　　EL. 230．85m
（最低水位　　EL. 231．00m
（７月２９日９時００分時点の速報値であり、確定したものではありません。）




放流バルブ放流状況

鳴子ダム管理所記者発表についてはホームページでご覧になれます。
ホームページアドレス【https://www.thr.mlit.go.jp/naruko/】

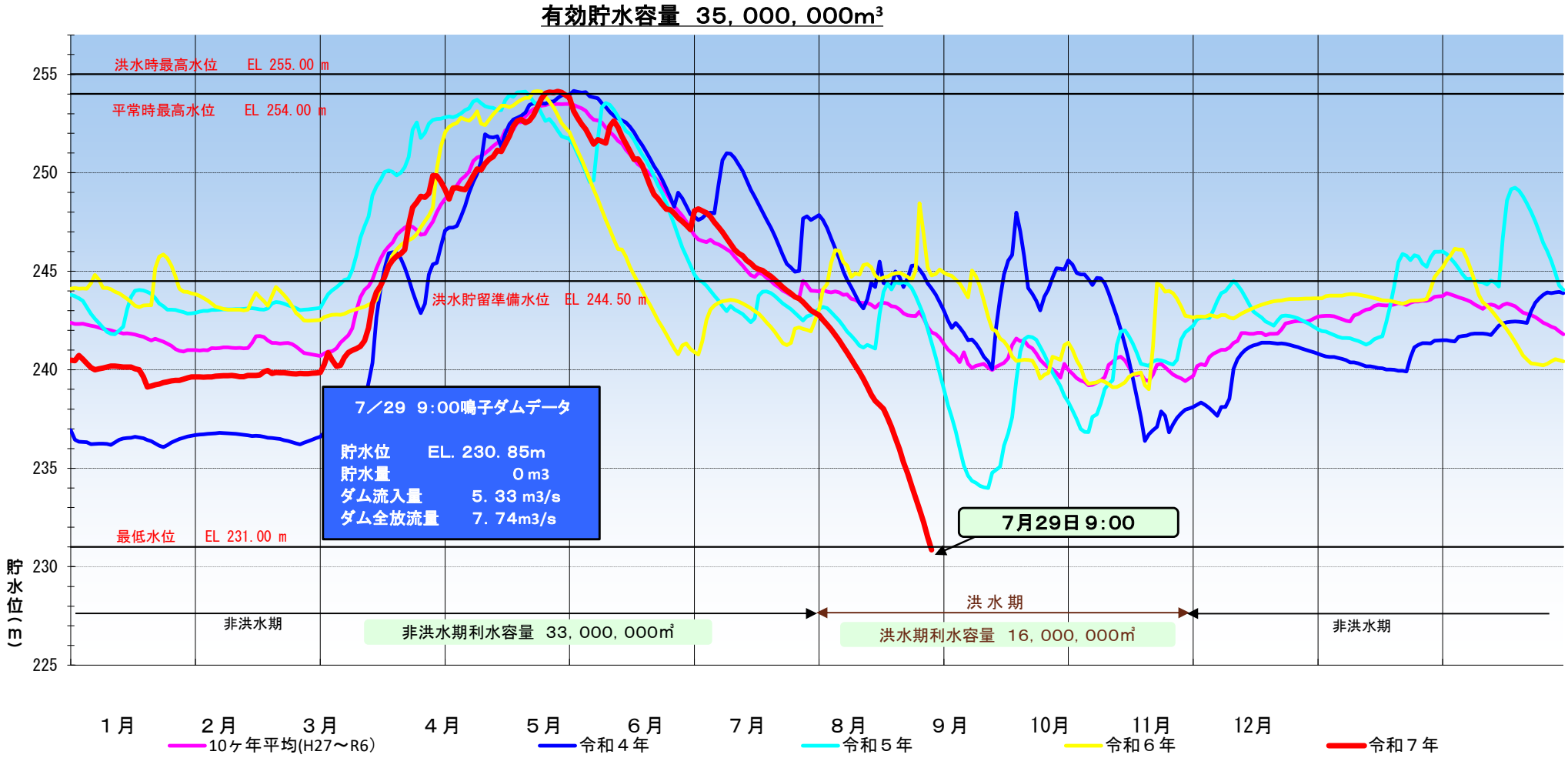
発表記者会　：　古川記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　鳴子ダム管理所
大崎市鳴子温泉字岩渕２－８
電話　０２２９－８２－２３４１（代表）

管理所長　　こじま　みつひろ　小嶋　光博　　（内線２０１）
専門官　　きむら　やすふみ　木村　康文　　（内線３０２）

鳴　子　ダ　ム　年　間　貯　水　位　曲　線



鳴子ダムの現状

●6月中旬から貯水位が減少し、7月29日午前3時の段階で利水貯水率は0.0%

令和5年7月28日(平年の状況)



貯水位：EL.242.08m
貯水率：78.2%

令和7年7月29日(9：00現在)



貯水位：EL.230.85m
貯水率：0.0%